

『坂の上の雲』フィールドミュージアムを形成する主要な要素

『坂の上の雲』フィールドミュージアムは、「センターゾーン」を中心に6つの「サブセンターゾーン」や「サテライト」で構成され、それらが一体となって"松山"ならではの文化性・物語性を発信していきます。

『坂の上の雲』フィールドミュージアムの拠点となるセンターゾーン

センターゾーンは、フィールドミュージアムの拠点ゾーンとして、その立地と環境が持つ大きなポテンシャルを活かしながら、"松山城"や周辺の施設等と一体となった、文化性と情報発信力に富んだ魅力的なゾーンとしての整備を目指します。

センターゾーンの整備方向

ゾーン全体の活力を高める
新たな魅力拠点づくりとポテンシャル強化

センターゾーンの構成要素

【既存施設の活用及び機能強化】

- 松山城
- ロープウェー
- 萬翠荘
- 秋山兄弟生家跡
- 城山公園
- 二之丸史跡庭園

【新たな施設の整備】

- 坂の上の雲ミュージアム
 - ・メイン展示機能
 - ・情報発信、人的交流機能
 - ・まちづくり支援機能

【ロープウェー通りの再整備】 □

- ゲートの整備
- 商店街活性化
- 街路整備及び景観整備
- ロープウェー駅舎改築

【その他の取り組み】

- 動線整備（松山城周辺）
- 景観整備
- 情報基盤整備

坂の上の雲ミュージアム事業の主旨

- ◆ 『坂の上の雲』の"精神"とその創造的"知見"を継承し、現代・未来に活かす
- ◆ "物語のあるまちづくり"を『坂の上の雲』を軸に展開していく
- ◆ まちづくりも含めた計画全体のPR及び支援拠点として、市民への啓蒙と参加をうながす

フィールドミュージアムの拡がりと、「物語」の彩りを演出するサテライト

サテライトの機能構成

サテライトは、小説ゆかりの地を含む地域資源で構成されます。

フィールドミュージアムの中で、センターゾーンとサブセンターゾーンをつなぐ中継ポイントの役割を持つため、回遊動線と一体的に整備していく必要があります。